

case 05 機械加工

ものづくりマイスター 岡野 一彦さん
派遣先企業 高洋電機株式会社

ものづくりマイスターの派遣を依頼した理由

中堅社員の技能向上と 会社全体の意識変革を進めたい

背景 年齢層が薄い社員への技能継承に危機感

“就職氷河期”と呼ばれる時期に就職した社員は、一般的に人材の層が薄いとされています。その世代が技能を継承しないと、当社のものでつくりが続きかねないのではないかという危機感を覚えています。これは、中小企業の共通課題とは思いますが、日々の業務をこなすだけで手一杯で、技能向上のために割く時間がないことが現状です。その中で、技能向上の1つの手段として、岡野マイスターに実技指導をお願いしました。私自身、マイスターの指導のおかげで技能検定に合格することが出来たので、後進にもその機会を作ってあげたかったです。

効果 社員の意識が変わり社内が活気づく

私自身の経験を踏まえて、今は皆がさらに成長してほしいという思いから受講を勧める側に回っています。ものづくりマイスターによる実技指導の効果は大きく、現在までに技能検定を取得した社員の数は、機械加工(普通旋盤作業)1級が1名、機械加工(マシニングセンタ作業)2級が2名、機械検査(機械検査作業)2級が2名、機械加工(数値制御旋盤)2級が1名となっています。この数がものづくりマイスターの素晴らしさを物語っています。さらに、受講したメンバーを中心に、会社の中で新しいことに挑戦していこうという意識も高まっており、それこそが一番の効果だと感じています。



高洋電機株式会社
技術品質本部 課長
にしおわたる
西尾 渉さん



「挑戦し続ける心構え」が 企業に活力をもたらす

高洋電機株式会社
〒519-0412 三重県度会郡玉城町中薬639-1
設立年 昭和48(1973)年
代表取締役社長 高祖 雅規
事業内容 純タンブステン、インコネルなど
難削材の加工、プレス、カシメ、
アセンブリーと製品梱包
従業員数 116名(2014年6月現在)



「常に前進し反省せよ」の理念のもと、創業以来ものづくりの道を邁進してきました。技術革新に即応した新鋭機械の導入・増強により、合理化・効率化・作業環境の改善を積極的に実施。その結果は、「中小企業合理化モデル工場」の指定や「地域未来牽引企業」の選定を受けたことにも顕れています。

プログラム内容

実施課題 機械加工
目的 普通旋盤、マシニングセンタ、機械検査、数値制御旋盤などの技能習得
受講対象 製造担当 3名
ものづくりマイスター 岡野 一彦

- 1回目 心構えと事前準備
- 2回目 課題、段取り方法
- 3~4回目 プログラム指導
- 5回目 段取り、オペレータ教育
- 6回目 プログラム、補正値入力

- 7回目 プログラムチェック、実技指導
- 8~15回目 検定課題活用指導



概要

普通旋盤、マシニングセンタ、機械検査、数値制御旋盤など、機械加工について、技能検定の課題を活用しながら、それぞれの作業手順や作業内容を座学と実技指導で学びます。このプログラムの中で、岡野マイスターは、受講者の長所を伸ばし、他企業との交流を図りながら意識を高め、やる気を出させることを大切にしています。

INTERVIEW

ものづくりマスターと
受講者が語る

中堅社員に根気よく寄り添い 着実に一步前進させる実技指導

二人三脚のように歩調を合わせ トップを目指す

短い時間の中で広範囲にわたる技能を習得することは、受講者にとって時に強いプレッシャーになることも。そのため、岡野マスターは丁寧で分かりやすい指導を心がけることはもちろん、受講者の表情やしぐさ、態度を観察することを怠らないようにしています。

岡野 日々の業務を行いながらの受講は時間に追われ、正直何度も心が折れかけました。しかし、上司や周囲の理解に支えられ、そして、何より岡野マスターは二人三脚のように私のペースに合わせ、やさしく指導してくださいました。おかげ様でカリキュラムの全てを終了することが出来ました。受講後、技能検定の機械加工（数値制御旋盤作業）2級に挑戦したところ、合格することができました。

岡野 「長所はどんどん伸ばし、短所は一

歩一歩焦らず根気よく」というのが、私の指導スタイルです。志の高い受講者には、「県内でトップを取るつもりで技能習得に取り組みなさい」と伝えています。成果を引き出すためにも、受講者のその日の様子をよく観察し、臨機応変に指導内容を調整できるようにしています。

「挑戦し続ける心構え」が 技術革新時代の技能者を育てる

現在、高洋電機では、中堅社員を中心に社内の意識改革が進んでいます。ものづくりマスターによる実技指導は、中堅社員が一步前進するきっかけにもなっているようです。

岡野 実技指導では、「挑戦し続ける心構え」の重要性を伝えたいと考えています。1つの技能を深く追求することも重要ですが、技術革新のサイクルが早いこの時代では関連知識にも興味を持ち、幅広く

情報収集し工夫や改善していく姿勢が大切です。仕事で困難なことにぶつかる時もあるでしょうが、この心構えを忘れずに前進してもらいたいですね。

奥山 岡野マスターからの教えがきっかけとなり、最近挑戦しているのが治具の絞め方です。ボルトで締めるのが一般的ですが、エアで吸着する方法を教えてくださいました。熟練のマスターが従来の方法にこだわらず、常に改善する思考を持っていたことには驚かされました。

日本のものづくりが 再び世界になる日まで

技能の習得は個人の意識を変え、社内の雰囲気にも影響を及ぼします。岡野マスターは、実技指導を通して個人に、組織に、さらには国にも貢献したいと考えているようです。

岡野 日本のものづくりが再び世界に一

なること。それが今の私の目標の一つです。そのためにも、指導者レベルの人材を育成し、個人にとどまらずチーム全体で技能を向上させていくことができるよう、今後も、ものづくりマスターとして頑張り続けたい。

角田 我々中堅社員は、現場で新しい取り組みを推進していく立場にあります。しかし、時には仲間と意見が食い違うこともあります。そうした逆風が吹いた際も、岡野マスターの指導を経験したことで自信が芽生え、皆を粘り強く説得し前進することが出来ました。これからも自分自身と会社の成長のために、技能向上に取り組んでいきます。



日本のものづくりが
再び世界のトップになること。
それが私の夢です

会社の仲間からも
助けられ試験をクリアする
ことができました

身につけた技能を
しっかり若手に伝えて
いきたいですね

技能に確たる自信が
芽生えたように
思います



ものづくりマスター
(機械加工)
おかの かずひこ
岡野 一彦さん



製造部 班長
おかの やすひさ
岡野 泰久さん



製造部 係長
おくやまたけし
奥山 武さん



製造部 係長
つのだ ひでし
角田 秀士さん



ものづくりマスター 岡野 一彦さん

平成26年度 厚生労働省「ものづくりマスター（機械加工職種）」認定
平成30年度 厚生労働省「テックマスター」認定

指導内容
技能検定（機械加工・普通旋盤作業）1級～3級レベルの指導
「機械加工」「数値制御旋盤作業」「マシニングセンタ作業」の実技など
技能指導の実績
企業向けのNC旋盤加工理論教育、マシニングセンタ、数値制御旋盤作業

昭和43年、シンフォニアテクノロジー株式会社（旧神鋼電機株式会社）に入社。民生用電気製品の部品加工部門、クラッチ製造部門などの製造現場で活躍。現在は、生産技術部長付として機械設備の改善、技能伝承などを中心とした業務に携わられたら、ものづくりマスターとして中小企業で機械加工の指導を行っています。